

前回協議会における指摘と対応

資料1

No	委員	委員からの意見	分類	事務局の対応案
1	藤井会長	ワンコインバスの導入はバス事業者に与える影響を調査する必要がある。	シビルミニマム	・料金をワンコインとすることは市議会で採択されなかった。 ・短期施策D(計画本編P.4-8)の施策詳細に、武蔵村山市の事例を追加する。
2	藤井会長	ライドシェアの導入に当っては、幅広い議論を行う必要がある。	シビルミニマム	・国の動向や法制度を注視して、協議会にて議論を行う。 ・中長期施策e(計画本編P.4-15)「新たな交通サービスの提供」において、ICTや自動運転技術に加え、シェアリングシステムについても活用の可能性を検討する旨の記載を追加する。
3	竹内委員	中央地域の循環バスについて、まずは実証実験を行い、需要を調査する必要がある。その際、無料のチャーターバスを運行することとすれば、各種手続きが容易になる。	シビルミニマム	来年度以降詳細な検討を行い、必要に応じて社会実験を検討するが、実証実験の方式については国土交通省との協議に基づき、決定する。
4	竹内委員	柏駅～柏の葉キャンパス駅までのバスは途中での乗降が多く、快速運行は需要が少ないのではないかと。	幹線・支線	来年度以降にバス運行に関する計画立案を行い、その際に施策の詳細について検討する。
5	竹内委員	快速運行でも運行本数が少なければ速達性はあまり向上しないのではないかと。	幹線・支線	来年度以降にバス運行に関する計画立案を行い、その際に施策の詳細について検討する。
6	南條委員	フィーダーの運行本数を増やして、利用者数を増やすことは検討しないのか。	幹線・支線	柏市は集約型都市構造を目指しているため、幹線沿線の公共交通利便性を向上させる必要がある。そのため、幹線の運行本数を増やし、フィーダーの運行本数を減らす方針とする。
7	南條委員	資料2のp.16で「モード間」という表現が分かりにくい。	モード間のシームレス化	記載表現を変更する。
8	南條委員	資料2のp.17で、どの交通手段のターミナルを整備するか記載した方がよい。	モード間のシームレス化	バスのターミナルであるという説明を加えた上で、施策範囲を示す円を小さくする(都市計画マスタープランに記載されている地域拠点の範囲と整合を図る)。
9	松丸委員	ユニバーサルデザインタクシーの導入を検討しているが、ソフト面の対応としてはドライバーの研修等も行われている。	高齢者	ご意見として頂戴する。
10	宮部委員	柏の葉以外の地域で、循環バスの導入を検討しないのか。	シビルミニマム	・まずは柏の葉駅周辺でモデルケースとして実施する。他地域ではニーズを踏まえた上で検討する。 ・概略ルート図を計画に記載することを検討する。
11	宮部委員	バスの利便性・速達性向上で、PTPSや快速運行についての課題が挙げられているが、施策として実施しないのか。	幹線・支線	過去にPTPSを導入したが、現在は機能停止させているため、課題として記載している。